



# Z-1200II

## 取扱説明書

Ver1.00



株式会社 サウンドハウス

〒286-0044 千葉県成田市不動ヶ岡1958

TEL:0476(22)9333 FAX:0476(22)9334

<http://www.soundhouse.co.jp> [shop@soundhouse.co.jp](mailto:shop@soundhouse.co.jp)



## はじめに

この度は Antari 社製のフォグマシン、Z-1200II をお買い上げいただき誠にありがとうございます。製品の性能を十分に発揮させ、末永くお使いいただくためにご使用になる前にこの取扱説明書を必ずお読み下さい。なお、本書が保証書となっておりますので大切に保管して下さい。

ご使用になる前に取扱説明書をお読み下さい。

1. 梱包を開き、破損した部品や欠品がないか確認して下さい。異常がある場合は販売店にご相談下さい。
2. 本製品は屋内使用専用です。屋外で使用しないで下さい。また、火災や感電の原因となる為、湿気の多い場所での使用はお止め下さい。
3. 使用する前に電源ケーブルのアースピンを必ず接続して下さい。
4. タンクにフォグリキッドを注入する際は必ず電源ケーブルをコンセントから抜いて行って下さい。
5. 本体を平面に設置して使用して下さい。
6. 本体を使用していない時は電源ケーブルをコンセントから抜いて下さい。
7. 本製品は防水、防沫仕様ではありません。万が一、水やフォグリキッドが本体内部に入った場合は、速やかに本体の電源ケーブルをコンセントから抜き、販売店または正規代理店に連絡して下さい。
8. 本製品は使用中に噴出ノズルが非常に熱くなりますので、人や動物に直接ノズルを向けることはやめて下さい。
9. 本製品は風通しの良い場所に設置して下さい。また本体に搭載された空気口は塞がないで下さい。尚、適切な換気を得る為に本体から最低 20cm 以内に物を置かないようにして下さい。
10. 可燃性の液体をフォグリキッドに混入することは絶対にやめて下さい。
11. 本製品には高品質な水性フォグリキッドのみを使用して下さい。低品質のリキッドを使用するとポンプやヒーター等の内部パーツが詰まったり、故障に繋がったりする恐れがあります。
12. 本体を移動させる際は必ずタンク内のフォグリキッドを空にして下さい。
13. 安全の為、本製品に付属された電源ケーブルのみを使用して下さい。
14. AC100V、50/60Hz にてご使用下さい。

故障が生じた場合はお手数ですが、必ず販売店もしくは正規代理店に連絡して下さい。無断で本体カバーを開けられた場合、保証の対象外となることがあります。

## 付属品

箱を開けて全ての付属品が同梱されていることを確認して下さい。

1. 電源ケーブル
2. Z-8 リモートコントロール
3. 本取扱説明書

以上のいずれかが同梱されていない場合は誠にお手数ですが、販売店または正規代理店までご連絡下さい。

## 基本設定

- 本製品を箱から出して、全ての梱包材を取り外して下さい。
- フォグマシンを平面に設置し、リキッドタンクの蓋を外して下さい。
- リキッドタンクにフォグリキッドを注入し、蓋を締めて下さい。本製品には必ず高品質のフォグリキッドのみを使用して下さい。
- 本体の背面に搭載された端子にリモートコントローラーを接続して下さい。

## 基本操作

- リキッドタンクにフォグリキッド注入して下さい。
- アース接続可能な電源コンセントに本体の電源ケーブルを接続して、本体背面に搭載された電源スイッチをオンにして下さい。本体がウォームアップ状態に入ります。ウォームアップが完了すると、リモートコントローラー上の緑色 LED が点灯してフォグを出力する準備が完了したことを示します。
- リモートコントローラーの緑色のボタンを押すとフォグが出力されます。
- 使用時は常にフォグリキッドの残量を確認して下さい。

※フォグリキッドが空の状態ではフォグマシンを動作させると本体を損傷させる恐れがあります。使用時は常にフォグリキッドの残量を確認して下さい。

稀に本体が「ウォームアップしない」、「出力が低い」、「ポンプノイズが発生する」、または「全くフォグが出力されない」等の症状が出る事があります。この場合は直ちに電源ケーブルをコンセントから抜いて下さい。リキッドの残量、ヒューズ、リモートコントローラーと本体との接続、使用電源等をチェックし、問題が無ければ再度電源ケーブルをコンセントに繋いで下さい。本体のウォームアップが完了し（約3分間）、再度リモートコントローラーのボタンを押してフォグが出力されない場合は直ちに電源ケーブルを抜き、販売店または正規代理店に連絡して下さい。

故障が生じた場合はお手数ですが、必ず販売店もしくは正規代理店に連絡して下さい。無断で本体カバーを開けられた場合、保証の対象外となることがあります。

## 本製品を使用する際の確認事項

- 全てのフォグマシンは出力ノズル付近で凝結が起きる為、ノズル下付近が濡れることがあります。本体を設置する際はこの点をご注意下さい。
- 全てのフォグマシンは動作している間、また動作停止後約1分間は少量のフォグを出力します。
- 全てのフォグマシンはフォグの出力とウォームアップを繰り返します。長時間フォグを出力したあとはウォームアップに入るまでに時間が少しかかる場合があります。本体がウォームアップしている間はフォグの出力はできませんのでご注意ください。

## メンテナンス

フォグマシンはヒーターユニットの目詰まりで出力できなくなることがあります。

ヒーターユニットの目詰まりの際は、保障対象外となります。

下記注意点を留意することで、商品の対応寿命を延ばすことが可能です。

使用しない際には電源をオフにして下さい。常時電源がオンの状態では、ヒートアップとクーリングを行っており目詰まりの原因となります。古いフォグリキッドや他の液体が混ざったフォグリキッド等は決して使用しないで下さい。

フォグリキッドをタンクに注入後、すぐにタンクとフォグリキッドのボトルの蓋を締めるようにして下さい。本体内部ヒータリング部品等に混入物などが堆積しないよう、使用時間 40 時間毎、または長期間使用しない場合など保管の際には、洗浄剤（蒸留水：80%、酢：20%）をタンクに入れ内部洗浄を行う必要があります。

洗浄方法は以下に従って下さい。

- ① タンクを空にした上、上記の洗浄剤をタンクに注入して本体の電源をオンにして下さい。本体がウォームアップを開始します。
- ② タンク内の洗浄剤が少なくなるまで本体を換気の良い場所で動作させて下さい。この際、タンクが空にならないようご注意ください。
- ③ これにて洗浄作業は完了です。フォグリキッドを再度注入し、本体を少しの間動作させて下さい。これによりポンプ、ヒーター内に残っている洗浄剤を出力させる事ができます。

※ 絶対にタンクが空の状態ではフォグマシンを動作させないで下さい。また、長期間本体を使用しない場合はフォグリキッドを抜き出し保管して下さい。

## リモートコントローラー

### Z-8 (10m ワイヤード・リモートコントローラー)

コントローラー上のインターフェースによってフォグ出力時間、インターバル、ボリューム等の機能を調節することが可能です。また LCD ディスプレイは設定されたパラメーターを表示し自動的にメモリー内に保存されます。これによって本体の電源をオフに切替えても設定したパラメーターを損なうことはありません。

#### 基本機能

- INTERVAL ノブ :** 10～250 秒の範囲でフォグ出力のインターバルを調節することが可能です。
- VOLUME ノブ :** フォグの出力レベルを 0～100%の範囲で調節します。
- TIMER ボタン :** タイマー機能のオン/オフを切替えます。オンに切替えると黄色の LED が点灯し、それぞれ INTERVAL ノブと VOLUME ノブで設定された値を出力します。尚、出力時間は 15 秒に設定されています。
- CONTINUOUS ボタン :** 継続的にフォグを出力します。ボタンを押すとフォグが連続して出力されます。
- MANUAL ボタン :** フォグが最大レベルで出力されます。出力を停止する際はボタンを離して下さい。

### Z-9 (ワイヤレス・リモートコントローラー)

最大直径 50m の範囲から遠隔操作が可能です。

## DMX 設定製品仕様

Z-1200II は DMX コントロールが搭載されています。各チャンネルは 0～255 の範囲で出力ボリュームの設定を行うことが可能です。インターバルや出力時間等のタイマー機能を DMX コントローラーや DMX コントロールソフトを使用して設定することができます。

### DMX 値

0-5 :	オフ
6-249 :	ボリュームコントロール (5~95%)
250-255 :	最大出力レベル (100%)

ディップスイッチでアドレス設定を行います。DMX のスタートチャンネルをディップスイッチで決めるタイプはすべて二進法で計算されています。

1DMX チャンネルで動作し DMX 値 0～5 はオフ、6～249 は 5%～95%出力となり、250～255 は最大出力となります。

通常私たちの生活では十進法が使用されています。十進法とは、0～9 を使って数字を表し、10 になったら位を上げるという考え方です。二進法とは、0 もしくは 1 を使って数字を表し、2 になったら位を上げるという考え方です。

例をあげると

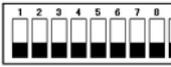
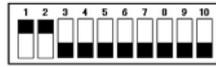
十進法	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
二進法	0	1	10	11	100	101	110	111	1000	1001	1010	1011

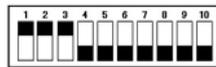
## 製品仕様

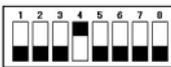
モデル :	Z-1200II
電源 :	AC100、50/60Hz
ヒーター :	1200W
出力 :	509.7 m <sup>3</sup> /分
タンク容量 :	2.5 リットル
リキッド消費レート :	44 分/リットル (最大出力時)
重量 :	6.6kg
サイズ	24.3(W)×17.7(H)×45.8cm(D)
リモートコントローラー (付属) :	Z-8
リモートコントローラー (オプション) :	Z-9

c この様になり、二進法計算のディップスイッチでチャンネルを決める場合、『0=OFF 1=ON』の考え方になります。

スイッチの設定上 ON/OFF の並びが左右逆での繰り上げで設定となりますが、スイッチで表記した場合

十進法	0	1	2	3
二進法	0	1	10	11
ディップ スイッチ				

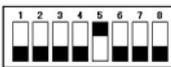
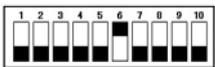
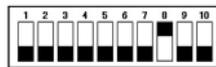
十進法	4	5	6	7
二進法	100	101	110	111
ディップ スイッチ				

十進法	8	9
二進法	1000	1001
ディップ スイッチ		

また、位の大きいチャンネルを設定する場合、下記の方法を覚えておくと簡単にチャンネルの設定が可能となります。

各番号のスイッチのみ ON にした場合

十進法	1	2	4	8
二進法	1	10	100	1000
ディップ スイッチ				

十進法	16	32	64	128
二進法	10000	100000	1000000	10000000
ディップ スイッチ				

十進法	256	512
-----	-----	-----

二進法	100000000	1000000000
ディップ スイッチ		

以上のように、通常の 10 進法と同様に、足し算ですべてのチャンネルを即座に計算することが可能となります。

またその場合、全ての計算において、設定したいチャンネル数を上記の『各番号のスイッチのみを ON にした場合』にある、1, 2, 4, 8, 16, 32, 64, 128, 256 の数字に分解して考える必要があります。

例にとってみると

チャンネルを 40 に設定したい場合：

$$40 = 32 + 8 = \begin{array}{|c|c|c|c|c|c|c|c|} \hline 1 & 2 & 3 & 4 & 5 & 6 & 7 & 8 & 9 & 10 \\ \hline \blacksquare & \square & \square \\ \hline \end{array} + \begin{array}{|c|c|c|c|c|c|c|c|} \hline 1 & 2 & 3 & 4 & 5 & 6 & 7 & 8 & 9 & 10 \\ \hline \blacksquare & \blacksquare & \blacksquare & \blacksquare & \square & \square & \square & \square & \square & \square \\ \hline \end{array} = \begin{array}{|c|c|c|c|c|c|c|c|} \hline 1 & 2 & 3 & 4 & 5 & 6 & 7 & 8 & 9 & 10 \\ \hline \blacksquare & \square & \square \\ \hline \end{array}$$

チャンネルを 62 に設定したい場合：

$$62 = 32 + 16 + 8 + 4 + 2$$

$$= \begin{array}{|c|c|c|c|c|c|c|c|} \hline 1 & 2 & 3 & 4 & 5 & 6 & 7 & 8 & 9 & 10 \\ \hline \blacksquare & \square & \square \\ \hline \end{array} + \begin{array}{|c|c|c|c|c|c|c|c|} \hline 1 & 2 & 3 & 4 & 5 & 6 & 7 & 8 & 9 & 10 \\ \hline \blacksquare & \blacksquare & \blacksquare & \blacksquare & \blacksquare & \square & \square & \square & \square & \square \\ \hline \end{array} + \begin{array}{|c|c|c|c|c|c|c|c|} \hline 1 & 2 & 3 & 4 & 5 & 6 & 7 & 8 & 9 & 10 \\ \hline \blacksquare & \blacksquare & \blacksquare & \blacksquare & \square & \square & \square & \square & \square & \square \\ \hline \end{array} + \begin{array}{|c|c|c|c|c|c|c|c|} \hline 1 & 2 & 3 & 4 & 5 & 6 & 7 & 8 & 9 & 10 \\ \hline \blacksquare & \blacksquare & \square \\ \hline \end{array} + \begin{array}{|c|c|c|c|c|c|c|c|} \hline 1 & 2 & 3 & 4 & 5 & 6 & 7 & 8 & 9 & 10 \\ \hline \blacksquare & \square \\ \hline \end{array}$$

$$= \begin{array}{|c|c|c|c|c|c|c|c|} \hline 1 & 2 & 3 & 4 & 5 & 6 & 7 & 8 & 9 & 10 \\ \hline \blacksquare & \square \\ \hline \end{array}$$

この様にして、簡単にチャンネル数を設定する事が可能となります。

## 保証書

ご使用中に万一故障した場合、本保証書に記載された保証規定により無償修理申し上げます。

### お買い上げ日より1年間有効

#### ■保証規定

保証期間内（ご購入より1年間）において、取扱説明書・本体ラベルなどの注意書に基づき正常な使用方法で万一発生した故障については、無料で修理致します。保証期間内かどうかは、サウンドハウスからのご購入履歴により確認を行います。但し、保証期間内でも、下記のいずれかに該当する場合は、本保証規定の対象外として、有償の修理と致します。

1. お取り扱い方法が不適當（例：過大入力によるウーハー焼けなどの故障等）なために生じた故障の場合
2. サウンドハウス及びサウンドハウス指定のメーカーや代理店が提供するサービス店以外で修理された場合
3. 製品に対して何らかの改造が加えられた場合
4. 天災（火災、塩害、ガス害、地震、落雷、及び風水害等）による故障及び損傷の場合
5. 製品に何らかの理由で異物が付着、もしくは流入したことによる故障及び損傷とみなされた場合
6. 落下など、外部から衝撃を受けたことにより故障及び損傷がおきたとみなされた場合
7. 異常電圧や指定外仕様の電源を使用したことによる故障及び損傷とみなされた場合（例：発電機などの使用による異常電圧変動）
8. 消耗部品（電池、電球、ヒューズ、真空管、ベルト各種パーツ等）の交換が必要な場合
9. 通常のメンテナンスが必要とみなされた場合（例：スモークマシン等の目詰まり、内部清掃、ケーブル交換等）
10. お客様自身で行った調整や修理作業が原因で生じた破損事故や故障
11. その他、メーカーの判断により保証外とみなされた場合

#### ●運送費用

通常、修理品の持込等に要する費用は全てお客様のご負担となります。但し、事前に確認のとれた初期不良ならびに保証範囲内での修理の場合は、佐川急便に限り着払いを受け付けます（下記RA番号が必要です）。沖縄などの離島の場合は、着払いでの受付は行っておりません。送料はお客様のご負担にて、どこの運送会社からでも結構ですので発送願います。

#### ●RA番号（返品承認番号）

初期不良または保証内の修理における着払いでの運送については、サポート担当より通知されるRA番号が必要です。ご返送される場合は、必ずRA番号を送り状シールに明記してください。RA番号が無いものについては、佐川急便以外の運送会社での着払いは一切お受けできませんのでご了承ください（お客様のご負担の場合はどの便でも結構です）。

#### ●注意事項

サウンドハウス保証は日本国内のみにおいて有効です。また、いかなる場合においても商品の仕様、及び故障から生じる損害（周辺機器の損害、事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失、又はその他の金銭的損害）に関してサウンドハウスは一切の責任を負いません。

**Antari**<sup>®</sup>  
**FOG MACHINE**